

議 事 録 兼 報 告 書

会 議 名 称	第 1 回伊那市行政改革審議会
日 時	令和 3 年 7 月 8 日（水） 13:30～14:30
場 所	庁議室
議 題	(1) 第 3 次伊那市行政改革大綱の取組結果について (2) 第 4 次伊那市行政改革大綱の実行計画について (3) その他
欠 席 者	本比田哲郎（伊那市金融団）
議 事 内 容	
1 開 会 2 あいさつ 神会長 3 協議事項 進行 神会長 (1) 第 3 次伊那市行政改革大綱の取組結果について ー資料 1 に基づき説明（事務局）ー ・定員適正化計画に関連して、庁内業務の効率化に向けて AI-OCR や RPA の導入を考えていく必要があると思うがどうか。 →職員が減る中で行政の効率を図らないと全体として回らない。伊那市では、RPA や AI-OCR については試験的に導入を始めている。行政手続きにおける押印の見直しを行いながら電子申請等も進めたい。 ・女性管理職の登用については希望者があまりいないことがある。女性で管理職になりたい方は、男性と同じくらいの比率でいるか？ →数の把握はできていない。伊那市では係長の昇任試験があるが、受験生は女性の方が少ない印象がある。 ・女性は、例えば子育てがあつて忙しいなどの事情があり、職場だけで解決できないこともある。改善に向けてどのように考えるか。 →特定事業主行動計画を策定し、子育て支援等のサポートや管理職等までの環境整備に取り組んでいる。 ・子育て支援センターの評価は低いが如何か。 →これは民間委託をするということに対して、できないという結論に対しての評価となっている。事業は直営で実施しており順調に機能している。 ・順調に動いている子育て支援センターを民間委託とした理由は何か。 →業務の効率化や経費の削減の視点で、民間でできるところは民間へお願いする発想がある。 ・コロナの影響で経済状態は良くなかったところがあるが、今後の見通しはどうか。 →11 月末までに希望される方にワクチン接種の提供ができるように取り組んでいる。秋口以降にプレミアム商品券を発行する中で、経済の活性化を図っていくこととしている。 ・ワクチン接種については、4 月中で連絡がいくということが良いか。 →クーポン券は 7 月の下旬までに配布するが、接種はまだ先になる方もいらっしゃる。	

(2) 第4次伊那市行政改革大綱の実行計画について

－資料2に基づき説明（事務局）－

- ・「行政評価の見直し」としているが、一番の課題は何か。

→評価いただいた通りにならないものがあり、外部評価の方法や意見のやりとりがうまくいってない部分がある。

- ・「外国人にわかりやすいホームページ」とあるが、多文化共生について定住まで考えているか。

→外国人の皆さんの定住について特に大きな目標はない。伊那市に暮らす外国人の皆さんに市の情報をわかりやすく届けることが目的となっている。

- ・下手な英語版のホームページを見せても、アジアからの留学生にとっては母校語ではないので分かりにくい。いっそう多言語で発信した方が良いと思うがどうか。

→伊那市のホームページは、言語を選択するとテキストの部分は翻訳できる仕組みがあるが、メールなど小回りの利く情報については工夫していきたい。

- ・東南アジアではムスリム（イスラム教を信仰している人々）が多く火葬ができないことが多い。他の自治体では埋葬できる場所がなく問題になっている。伊那市ではどうか。

→市営の墓地ではできない。許可を取ればできるお寺もあると思うが、ほとんど例がない。

- ・ムスリムの方はハラール（イスラム教に沿った料理）が無く住みにくい。教育レベルが高い留学生が来ることはこの地域にとっても良いと思うので検討いただきたい。

- ・自主防災組織の活動として災害時住民支え合いマップの作成がある。前回の評価はA評価であることから、今回の計画では同じ「マップの作成」を掲げるよりは「マップを活用した避難訓練」など、次のステップの取り組みをまとめた方が良いのでは。

→支え合いマップは約6割程度の地区で完了しているが、4割程度の地区は出来ていないことから、全地区での作成にむけて計画している。

- ・経費を掛けないために業務の民間委託を強化しているように感じることもある。専門業者が担うことでサービスの向上や効率化には繋がると思うが、金銭的に安いとこととなると目的に沿うか懸念される。

→業者の選定はプロポーザル方式で、金額やサービスの提案を総合的に評価するケースもある。サービスを向上させつつ費用を削減できるよう取り組みを進めたい。

- ・市民の立場で行政改革と言えば窓口の手続きになる。計画ではオンラインやデジタル化があるがどの辺りまで取り組む予定か。最終的には家のパソコンから手続きができるなどが考えられるが、どこまで行けるとお考えか。

→国の動きを見ながら、また、庁内のデジタル行政部会の中で民間の方も交えて検討を進めている段階となっている。デジタル化はこれからとなるが、この4月に窓口のレイアウトを変更した。これまでは手続きされる方に窓口を移動いただいていたが、今は担当者が入れ替わり立ち替わり動くことで市民の皆さんの負担を低減している。

- ・ゴミの焼却施設ができてから、ほとんど可燃ごみとして出せるようになった。地球温暖化と矛盾するような気がするが、如何か。

→新しいクリーンセンターでは、市民の利便性を高めるため現在の形をとっている。一方、国で

は、新たにプラスチックを再利用する法律ができた。今後、改めることになると思う。

- ・制度が変わるとゴミ捨て場で混乱が予想される。分かりやすい日本語で広報いただきたい。
- ・焼却後の残渣の再利用も考えているか。

→焼却後に残った焼却灰を固めたスラグはアスファルトに、さらに細かくて処理できない飛灰はごくわずかとなるが埋め立てている。

(3) 外部評価について

－資料3に基づき説明（事務局）－

- ・評価は各委員の評価の多数決となるか。

→チェックシートで各自評価し、全体としてどういった評価とするか調整いただく。

- ・経営をやったことがないのでわからないこともある。費用を掛けたことにより市民へのメリットはあると思うが、それを図るのは非常に難しいが如何か。

→チェックシートの中で、事業の目的が達成されているか、社会状況の変化中で目的を達成できるか、などチェックいただく中で、最終的な評価が出てくる仕組みとなっている。

(4) その他

特になし

4 その他

－今後の日程について事務連絡（事務局）－

5 閉 会

以 上